

令和7年度 和歌山県地域と学校の連携・協働体制推進事業におけるふりかえり

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の報告

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和8年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
有田川町	②学校と地域の課題	青少年の健全育成	子どもの学校以外の居場所が少なくなってきたり、地域の繋がりが希薄になっていることから子どもたちが集まる場が必要である。	元教員やボランティアによる放課後週一回の居場所作り	指導員を1名増やし、工作や遊び、学習支援を通して子供らが集える場所を作る。	子どもが安心して過ごせる放課後の居場所作り	利用人数	520	人	800	520	2 通年で指導員増員できなかった。令和8年度は通年で増員できるように適任者を探している。 インフルエンザの流行が長期間となり、利用控えが生じた。
	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	地域でのつながりの希薄化により、大人と接する機会が学校内や家庭内に限られている。	元教員等地域の大人による学習支援や体験を行う。	週1回行っている放課後等子ども教室事業の継続や充実を図る。	一人での多くの子どもが様々な体験や大人との交流を経験することで、子どもたちの健やかな成長を促す。	利用人数	27	人	30	26	3 利用人数については、目標値を下回ったが、児童同士や大人との交流の機会提供等一定の効果があったと思われる。読み聞かせや工作、調理等の体験を通じて個々の子どもの成長が見られた。今後も様々な体験学習を取り入れていき、子ども同士および子どもと大人の交流を継続して図っていきたい。 指導員の高齢化がすすんでおり、新たな人材の育成が必要である。